

1. 件名：
公益財団法人核物質管理センター東海保障措置センターの防災訓練実施結果報告書の概要説明について
2. 日時：
令和2年3月11日（水）10時00分～12時00分
3. 場所：
茨城県原子力オフサイトセンター 原子力防災専門官事務室
4. 出席者：
原子力規制庁東海・大洗原子力規制事務所
関谷原子力防災専門官、水野技術参与
公益財団法人核物質管理センター東海保障措置センター
課長代理
5. 要旨
公益財団法人核物質管理センター東海保障措置センターより、令和2年1月21日（火）午後に実施された総合防災訓練実施結果報告書の説明を受けた。
訓練は、地震の発生を起因として、本体施設のグローブボックス排気フィルターに損傷が生起し、新分析棟の排気筒から放射性物質が放出され、施設敷地緊急事態及び全面緊急事態に進展する原子力災害を想定し、これに対する実効的な対応能力向上を目的として実施された。
昨年の総合防災訓練での反省事項に関して有効な改善策を案出し、事前の教育や個別訓練により、本年度の総合防災訓練において改善が図られていることが確認された。
特に、防災本部内のE R C対応班は、少人数構成（主、従及び補助者）でありながら、本部全体の活動を良く把握できる位置に設置させ、また騒音対策を工夫する等の良好な取り組みを実施しており、これらの工夫に防災本部要員全員が慣熟するように定期的な訓練実施を助言した。
6. その他
配布資料なし。